

志賀原子力発電所 2号機

電動駆動給水ポンプ吸込流量計の空気抜き操作間違いについて

平成 17 年 7 月 27 日午前 10 時 30 分頃、志賀 2 号機において計画停止期間中に電動駆動給水ポンプ吸込流量計の空気抜き操作*を実施していたところ、純水補給水系統が通常の圧力より高くなる事象が発生しました。

原因は、高圧復水ポンプ運転中の場合には、空気抜き弁を開けて空気抜き操作をすべきところ、作業員が誤って、同ポンプ停止中の場合の空気抜き操作を行おうとし、水張り弁を開けたためです。(下図 ~ 参照)

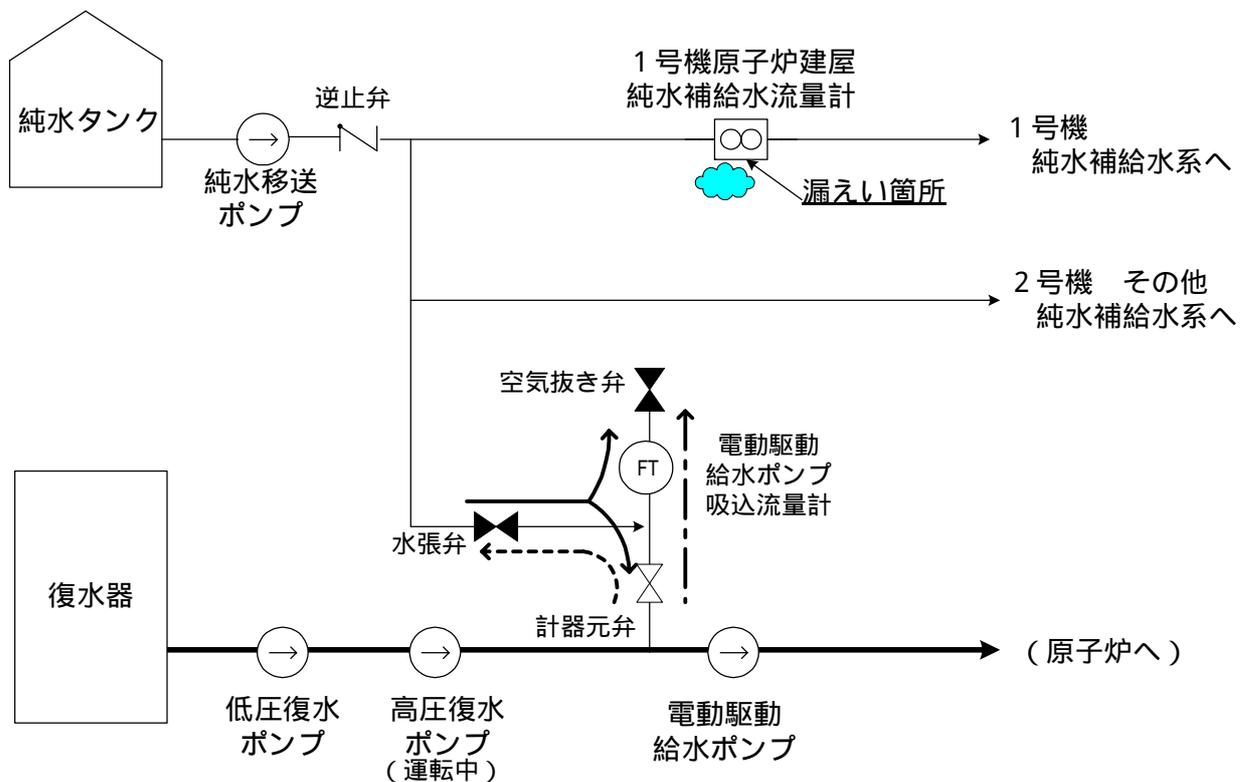
純水補給水系の全系統を目視点検した結果、1号機の原子炉建屋純水補給水流量計の本体フランジ部より純水約 20cc の漏えいを確認しました。漏えい水には放射能は検出されず、またこれ以外の箇所の漏えいや異常はありませんでした。

なお、外部への放射能による影響はありません。

今後、計器の空気抜きは、系統の状態を考慮した具体的な方法を手順書に明記し、再発防止を図ります。

* 空気抜き操作

流量計検出配管に空気が入ると正確な値が得られないため実施するもの



- : 本来行うべきであった空気抜きライン (高圧復水ポンプ運転中の操作)
- : 今回水張り弁を開けて行おうとした空気抜きライン (高圧復水ポンプ停止中の操作)
- : 今回水張り弁を開けたことにより、通常より高い圧力となったライン

系統概略図